



# 校種・教科別ICT活用事例一覧表 (中学校・美術)

		(中学校学習指導要領(H29告示)解説美術編を基に作成)		
		1年	2年	3年
A 表現	p57 ア(ア) 対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。		p87 ア(ア) 対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。	
	<p>思考を深める学習</p> <p>作品を制作するにあたり、プレゼンテーションソフトなどを活用して色やデザインの組み合わせをシミュレーションする。</p>			
B 鑑賞	p71 ア(ア) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。		p102 ア(ア) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。	
	意見整理			
	自分たちの作品や美術作品について、感じたことや思ったことを入力し合う。それが一覧で表示されることで多くの考えに触れ、共通点や相違点などについて分類してまとめる。			
	p72 ア(イ) 目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。		p103 ア(イ) 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。	
表現・制作 発表や話し合い				
作品を鑑賞し、プレゼンテーションソフトなどを活用して、作者の心情や表現の意図などについて考えたことをまとめ、発表する。				
p74 イ(イ) 身近な地域や日本及び諸外国の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げること。		p107 イ(イ) 日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気づき、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。		
表現・制作 発表や話し合い				
プレゼンテーションソフトなどを活用して、身近な地域や日本及び諸外国の文化遺産についてまとめ、美術文化について考える。				
内容の取扱いと指導上の配慮事項	p131 イ 美術の表現の可能性を広げるために、写真・ビデオ・コンピュータ等の映像メディアの積極的な活用を図るようにすること。			
	意見整理			
	複数の写真を撮影したものを比較し、主題をよりよく表現している写真を考える。			
	表現・制作			
	撮影した何枚かの写真を組み合わせた組み写真を、物語性をもたせて制作する。			
	動画を撮影して、学校紹介やコマーシャルを作成したり、絵をコマ撮りして、短編アニメーションを作成したりする。			
調査活動				
インターネットを活用して、国内外の作品や作者について調べたり、美術館、博物館等のWeb ページを閲覧したりする。				
学校の壁を越えた学習				
遠隔授業を行い、学校外の美術の専門家から学んだり、他校の生徒たちや地域の人々と交流し、異なる考えやそれぞれの国や地域の美術文化にリアルタイムに触れたりする。				
慮生障のに徒害事つへの項いのあて配る	p122 造形的な特徴などからイメージを捉えることが難しい場合などにおいて、形や色などに対する気付きや豊かなイメージにつながるように、自分や他の人の感じたことや考えたことを言葉にする場を設定するなどが考えられる。			
	個に応じた学習 意見整理			
生徒自身の作品や美術作品について、感じたことや思ったことを入力させ、共通点や相違点などについて分類してまとめやすくする。				